

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

I 自己評価

| | | |
|---|---|--|
| 1 学校教育目標 | 校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。 | |
| 2 評価する領域・分野 | ◇保健管理・安全管理 | |
| 3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等 | 地震や台風などの対応について、保護者は87%、生徒は78%が、周知されていると回答している。昨年度より、保護者は1ポイント上回ったが、生徒は10ポイント周知の割合が減少した。 | |
| 4 今年度の具体的かつ明確な重点目標 | ◇健康診断を通して自らの健康状態を把握し、健康管理に努める。 ◇校内外の環境美化に積極的に取り組む生徒を育成する。 | |
| 5 重点目標を達成するための校内における組織体制 | <ul style="list-style-type: none"> • 学校保健安全委員会 • 安全衛生委員会 | |
| 6 目標の達成に必要な具体的な取組 | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標 | |
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 計画的に内科等の各種検診、尿および色覚検査等を実施する。 (2) 検診、検査等の意義および実施方法を、保健だより並びに各種資料、データを用いて、生徒に理解させる。 (3) 健康診断で異常が認められた生徒には、本人および保護者に通知し、再検査を促す。 (4) 生徒の委員会活動を活性化し、健康管理および環境美化への意識を啓発する。 (5) 委員会活動として、校内外の環境美化活動を率先して行う。 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 検診、検査等の意義および実施方法の理解度 (2) 検診、検査等の受診率並びに提出率 (3) 再検査が必要な生徒の受診結果報告書の提出率 (4) 教室の整理整頓、ゴミの分別、トイレの使用状況 (5) 生徒美化委員会およびボランティア会の活動状況 | |
| 8 取組状況・実践内容等 | 9 評価視点 | 10 評価 |
| <ul style="list-style-type: none"> • 4月から6月までの3か月間に計画的に検診を配置し、内科、眼科、歯科検診を実施した。また、今年度から新たに運動器検診と色覚検査を実施することになり、運動器検診は内科検診の中で、色覚検査は養護教諭が放課後等に行った。 • 毎月発行する保健だよりで健康情報を提供するとともに、検診の意義、必要性を伝えた。また、手作り poster、グラフなどの掲示物を作成し、保健室前廊下掲示板に掲示した。 • 検診が終わった時点で、異常が認められた生徒には再検査を通知し、夏季の保護者懇談会でも健康診断の結果を保護者に伝え、未受診の生徒には再検査を依頼した。それでもなお受診結果報告書が提出されない生徒には、9月末および冬の懇談時に再度督促した。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 健康診断の受診率および尿検査の提出率。 ② 健康診断の結果から、再検査者の受診率を高めることができたか。 ③ 校内美化に意欲的に取り組めたか。ごみの分別を確実にを行い、ごみの量を減らすことができたか。トイレの使用マナーは適切か。 | <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 美化、保健の各委員会でポスターを作成し、健康管理、環境美化に対する意識を啓発した。また、定期的に廊下、階段、トイレを委員会の生徒で清掃し、改装直後の状態をできるだけ保ち続け、全校生徒にきれいに使用する自覚を持たせた。 | | |
|--|--|--|

| | | |
|---------------------|---|---|
| 11 成果 ・ 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ○健康診断に合わせて、保健だより並びに各種掲示物を作成し、意識の高揚を図ったことにより、検診の意義を理解する生徒が増加した。 ○内科医との事前の打合せにより、運動器検診も問題なくスムーズに進んだ。 ○生徒保健委員会がポスターを作成し、全校生徒に呼びかけた結果、予防としてマスクを着用する、手指消毒剤を積極的に活用する生徒の姿が、多く見られるようになった。また、今年はインフルエンザの流行が早かったため、教室の換気を早期から行った。 ○生徒美化委員会を中心に廊下、階段の清掃を定期的に行ったことにより、改装直後の状態を保っている。 ○地震災害対策として、校内危険箇所防災マップを保健委員会が作成した。 ▲再検査者の病院受診率が向上してきたが、まだ歯科、眼科受診者率が低いので高めたい。 ▲教室内の清掃、整理整頓が行き届いていないので、きれいにさせたい。 ▲地震や台風への対応が、生徒にあまり理解されていないので、周知していきたい。 | 総合評価 A <input checked="" type="checkbox"/> B C D |
|---------------------|---|---|

| | |
|----|--|
| 12 | 来年度に向けての改善方策案 <ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法施行規則が改正され、今年度から新たに運動器検診と色覚検査を実施したが、格別問題もなかった。県教委から内科医増員の話もあるが、必要ないと思われる。 照度や検査方法の問題から新しい視力検査器を導入し検査したが、1次検査で正確な検査がなされていないので、今後検討していきたい。 保健だより、ポスター、掲示物等で身近な情報、資料を提供し、自ら健康および生活習慣について考え、見直し、改善していく自己管理能力を育てていきたい。 ESD「環境教育」の一環として、校内美化の推進だけでなく、地域の自然環境保護にも力を入れていきたい。自然を守り、通学路等にごみを捨てないなど、地域の環境にも目を向ける心を醸成していきたい。 災害に対する危機管理能力を高めるために、命を守る訓練、緊急地震速報訓練の内容を検討していきたい。また、学校災害対応マニュアルを保護者にも理解してもらい、家庭との連携を図りながら安全指導に努めていきたい。 |
|----|--|

II 学校関係者評価

実施年月日：平成 年 月 日

| |
|--|
| 【意見・要望・評価等】 <ul style="list-style-type: none"> 「健全な体に健全な心が宿る。」心身共に健康第一と思う。「自分の体は自分で守る」が基本原則である。命の大切さを学ぶとともに自己管理、自己防衛の気持ちを持ってほしい。自分を大切に思い、友達、家族を大切に思える心を育ててほしい。 生徒が「なるほど！」と思うようなしなやかな考察し、生徒たちが自ら自分のいのちを守る行動ができるように工夫をこらしていく姿勢を評価したい。地震災害への対応にみられるように、「生徒のためになることをなんでもやっつけていこう」という姿勢は大いに意味がある。 火事に対する訓練から命を守る授業、地震訓練へと検討される事は、大変よいと思う。高校生でも、AEDの扱いも知ってほしい。 |
|--|